

# 県大 jiman

2018  
JULY  
023  
滋賀県立大学広報誌

特集1

## 県大の彦根に乾杯!

特集2

## 発見! jimanな施設

突撃! jimanな先生 : 宮城茂幸 准教授

After School Report :

グリーンコンシューマーサークル

おとくらプロジェクト

News : SDGs特集

KENDAI JIMAN

### 県大イベントカレンダー

- 7月13日(金) 第5回就職セミナー(業界研究セミナー:基礎編)  
21日(土)、22日(日) オープンキャンパス  
31日(火) ~ 8月06日(月) 前期定期試験
- 8月07日(火) 夏季休業開始  
17日(金) ~ 19日(日) 地域活動実践ターム
- 9月27日(木) 夏季休業終了  
28日(金) 後期授業開始
- 10月05日(金) 第6回就職セミナー(就職活動本番準備セミナー)  
12日(金) 第7回就職セミナー(業界研究セミナー:応用編)  
20日(土) 保護者向け就職説明会
- 11月03日(土) 第8回就職セミナー(ES対策セミナーと模擬テスト)  
06日(火)、09日(金) 第9回就職セミナー(全国一斉WEB模擬試験)  
16日(金) 大学祭前日準備(全学休講)  
17日(土)、18日(日) 大学祭「湖風祭」  
19日(月) 大学祭後片付け(全学休講)  
25日(日) 特別選抜試験  
30日(金) 第10回就職セミナー(冬のインターンシップの選び方)
- 12月01日(土) TOEICテスト  
07日(金) 第11回就職セミナー(ビジネスマナー講座)  
15日(土) 第12回就職セミナー(面接対策とGD対策)  
21日(金) 第13回就職セミナー(学内業界研究会事前説明会)  
25日(火) 冬季休業開始
- 1月04日(金) 冬季休業終了  
15日(火) ~ 17日(木) 学内業界研究会  
18日(金) センター試験前日準備(全学休講)  
19日(土)、20日(日) 大学入試センター試験

▽県大 jiman23 号についてご意見をお寄せください  
(下記 QR コードを読み取ると、Web からアンケート  
の回答ができます)



The University of Shiga Prefecture

# 県大 jiman

## 特集 1

### 県大の彦根に乾杯！

23号のテーマは「発見」です。私たちは日々さまざまな発見を積み重ねていますが、意外と身近なものほど知らないことも多いのでは？

そこで今回、彦根の歴史・街に焦点を当てた「県大の彦根に乾杯！」、県大の施設・教室に注目する「発見！ jiman な施設」を取り上げました。

何気なく通り過ぎてしまうような小さい発見が、やがて枝を伸ばし花を咲かせるかもしれません。

## 特集 2

### 発見！ jiman な施設

## CONTENTS

### 特集

03 県大の彦根に乾杯！

07 発見！ jiman な施設

### 県大REPORT

09 突撃！ jiman な先生：宮城茂幸 准教授

11 After School Report :

グリーンコンシューマーサークル

おとくらプロジェクト

13 information

14 News : SDGs 特集

## 編集後記

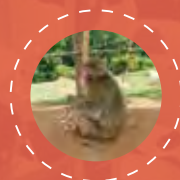
テーマ：学科を決めた「発見」は？



将来の夢である鉄道車両の設計者を実現させるため。  
機械システム工学科 4年 吉川知秀



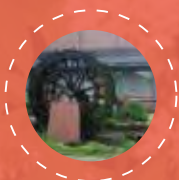
オープンキャンパスの模擬授業で3つの分野を学べると知ったため。  
人間関係学科 3年 池田真菜



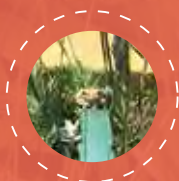
1つの学科で3つの学問を学ぶことができ、お得だと思ったから！  
人間関係学科 3年 山根光穂子



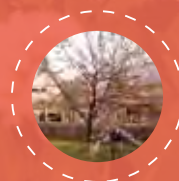
実家から通え、心理学が学べること。  
人間関係学科 3年 樋口怜奈



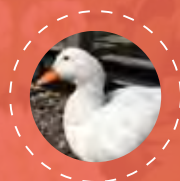
社会学を志望しつつも心理学への未練が断ち切れない私にぴったり。  
人間関係学科 3年 岸本沙希



文理どちらの道も開くことができる。  
環境政策・計画学科 3年 正木美帆



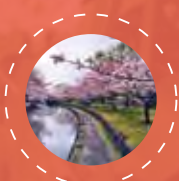
琵琶湖の近くでフィールドワークができるから。  
環境政策・計画学科 2年 小沼里紗



考古学、社会学、歴史学…幅広い分野が学べること。  
地域文化学科 2年 高木咲歩



現場で学べる環境フィールドワークに魅力を感じた。  
環境政策・計画学科 2年 藤本穂乃佳



琵琶湖の景色に憧れて、彦根特有のスローライフに惹かれて、日本に来て県大に入った。  
地域文化学科 1年 鄭皓元

地域文化学科 4年 小林真紀子  
国際コミュニケーション学科 3年 足立実音  
環境建築デザイン学科 2年 山田海理  
環境政策・計画学科 1年 野口将太郎  
OB 高杉昭吾  
事務局 馬淵優子 今村圭吾

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。

私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。

デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。

外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、

興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

Mail : kendajjiman.tw@gmail.com

Twitter : @kendajjiman

年2回発行

夏号7月上旬

冬号2月下旬

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第23号  
発行 | 滋賀県立大学広報委員会  
編集 | 広報誌作成グループ  
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470  
E-mail | keiei\_kikaku@office.usp.ac.jp  
発行日 | 2018年7月  
www.usp.ac.jp  
誌面デザイン：学生スタッフ  
表紙の写真：池田真菜

# 県大の彦根に乾杯！

県立大学がある彦根市は、歴史を感じられる素敵な場所です。今回は彦根市とその周辺の魅力をみなさんにお伝えします。みなさんもぜひ足を運んで、新たな歴史を発見してみてくださいね。



多賀大社

## 概要

彦根市の近く、犬上郡多賀町にあります。南彦根駅からは湖国バスを利用して行くことができます。地元の人たちからは「お多賀さん」と呼ばれ、親しまれています。



## 生命の神様！？

「古事記」によると、伊邪那岐大神（いざなみのおおかみ）と伊邪那美大神は神代の昔に、初めて夫婦の道を始められ、日本の国土、続いて天照大神をはじめとする八百万の神をお産みになりました。生命（いのち）の祖神様であることから、「延命長寿・縁結び・厄除け」の神様として信仰を集め、鎌倉〜江戸時代にかけては武家や民衆にも信仰が広がり、多賀大社の分祀社は全国に239社あります。

## 伊勢神宮との関連

天照大神が伊勢神宮のご祭神であることから、「お伊勢参らばお多賀へ参れ、お伊勢お多賀の子でござる」という俗語も生まれました。



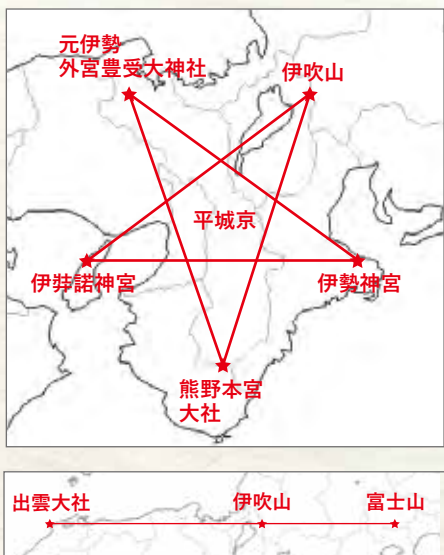
## 伊吹山の神秘

彦根の東北に位置する伊吹山は、文化的、宗教的にも日本人にとって古くから重要な象徴です。

伊吹山・三重県の伊勢神宮・和歌山県の熊野本宮大社・兵庫県の伊弉諾（いざなぎ）神宮・京都府の元伊勢外宮豊受大神社を線で結ぶと、地図上に『五芒星』が浮かび上がるのです。この中心には奈良の平城京があり、平城京を守る結果を示すレイライン※といわれています。

さらに、伊吹山の東には富士山、西には出雲大社があり、この3点は一直線で繋がっています。伊吹山は底知れないパワーを感じさせる霊峰なのです。

※レイライン：古代の遺跡には直線的に並ぶよう建造されたものがあるという仮説の中で、その遺跡群が描く直線のこと。



## 万葉集で詠われた彦根

万葉集の和歌に「鳥籠（とこ）の山」「不知哉（いさや）川」が登場します。これらは、それぞれ彦根市東部にある大堀山と芹川であるとされています。

左記の二首の和歌はどちらも「不知哉（いさや）川」と、知らない拒否する助動詞「いさ」（さあ、どうだろうか）を掛けています。

近江路の鳥籠の山なる不知哉川

日のくろくろは恋つつもあらう

〈岡本天皇〉

（近江路の鳥籠の山にある不知哉川のその名のように、先のことは知らないが今は恋い慕っています。）

犬上の鳥籠の山なる不知哉川

いさとを聞きせわが名告らすな

〈作者不詳〉

（犬上の鳥籠の山を流れる不知哉川のように、さあ知らないとおっしゃってください、私の名をおっしゃいませんように。）



## 豆知識

鳥籠の山がどこを指すかは様々な説がありますが、中山道旧跡を残す意味で大堀山に碑が建立されています。また、この石碑には芭蕉の歌「ひるがおに昼寝せうもの床の山」が彫られています。





# 彦根城

## 概要

1600年、関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康が自身の勝利に貢献した井伊直政に佐和山城を与えました。家康は合戦後も強い勢力を持つ豊臣家（大坂城）と西国の大名を監視するため、直政に新しい城の築城を命じました。直政が死去し、後を継いだ直継が城の移築計画を家康に申し出て1604年に着工したと言われています。そして、1622年に城郭が完成したと伝えられています。



彦根城の敷地内からの眺め

## リサイクルの城！？

天守は大津城から、天秤櫓は長浜城から移築されたと伝えられています。ほかにも佐和山城などの石垣や建築物を利用して作られました。

なぜ、このようにほかのお城から移築したのでしょうか？ それは、迫ってくる敵に早く対応するためだったからです。木材の準備から始めると、切ったり乾かしたりする作業が必要になり、時間と手間がかかります。そこで、元々ある城の資材を使うと、比較的短時間で築城ができたそうです。

## 解体の危機を逃れたお城

明治時代に入ると、各地の城は廃城令により次々と破壊や売却が決まってきました。彦根城も解体中でしたが、大隈重信が彦根城の消失を惜しみ、天皇が北陸巡幸を終えて高宮宿に到着された際に上奏しました。すると、天皇はこれを了承し天守解体の中止を命じられたそうです。

## コラム「井伊家の赤備え」

井伊家の部隊は当主から家臣にいたるまで、甲冑や旗指物など武器類を朱色で統一していたので、「井伊家の赤備え」と呼ばれるようになりました。1582年に部隊が成立。この年に甲斐の武田氏が滅亡し、武田氏を討った織田信長が本能寺の変で討たれると、家康が武田旧領を手中に収めました。その際、家康は井伊直政に多くの武田旧臣を附属させ、直政を侍大将に取り立てました。その数は74名と伝えられています。武田の兵法を取り入れた「井伊の軍法」が武田旧臣によってまとめられました。

「井伊の赤備え」部隊は、家康の命令によってつくられた精鋭部隊で、徳川最強の軍団としてめざましく活躍し、家康の天下統一を支えたのです。



## 首都候補・彦根！？

250年という長い江戸時代の中で、井伊家が統治していた彦根城は、戦争をしたことがないことから、平和の城、行政の象徴として存在しました。そして平和な時代だったゆえに彦根の文化・芸術・学問は豊かに育ち、高い水準へと到達した結果、京都に準ずる都市としての役割を期待されるまでになりました。

1850年代には松代藩士佐久間象山は、西国諸侯の力を抑えるため天皇と皇室を彦根に移そうとしました。しかし、象山は暗殺され、計画は実現せずじまつてしまったのです。



彦根城内「玄宮園」より

## 井伊直憲の海外遊学

明治維新以後、明治政府は旧大名に海外留学を奨励しており、多くの旧大名は欧米を見聞していました。最後の彦根城主である井伊直憲もその一人でした。

直憲はロシア人（昔のドイツ人）から英語を学び、一年かけてアメリカ・サンフランシスコ、イギリス・ロンドン、フランス・パリなどを巡りました。その中で1851年に開催されたロンドン万博で水晶宮や動物園、劇場などを見て回りました。



## 交流センター

大人数が講演等を聴く時に利用します。  
1年生は全員が地域共生論という授業をここで受講します。

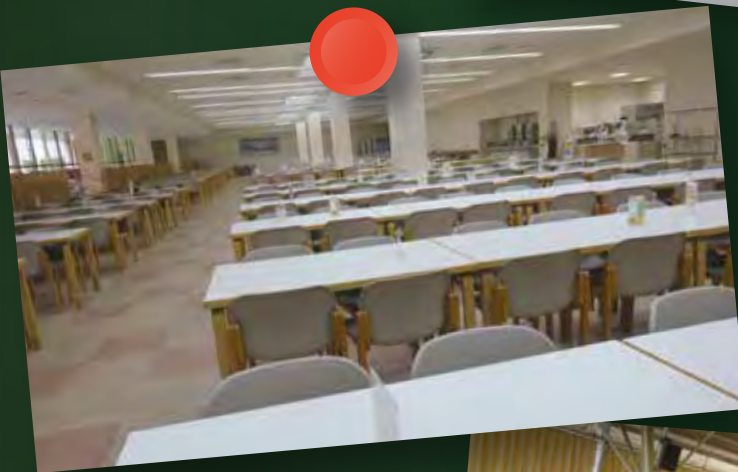
## A2-202

最大で約300人が座ることのできる、  
県大で一番広い講義室です。受講生の  
多い講義や説明会などで使われます。



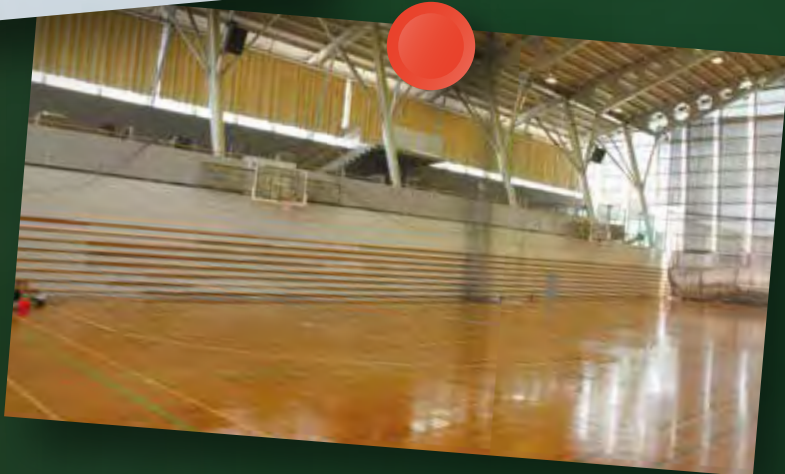
## カフェテリア

安くておいしいご飯が食べられます。昼休  
みには座る場所がなくなるほどの混み具合。  
期間限定のメニューなどもあります。



## 体育館

1・2年次に履修する「健康・体力科学」  
という科目で使用します。筋トレ用の  
器具がたくさんあるスペースも。



# 発見！ jiman な施設

県大 jiman の学生スタッフが、学生目線で県大の施設を紹介します。共通講義棟や体育館など、県大の学生なら誰でも使ったことのあるような場所を中心に紹介しているので、これを読めば県大生の気分が味わえるかも？各学部棟については過去の県大 jiman で特集をしています。もっと知りたい！と思った方は県大 jiman18～20号を見てみてください。県大のHPからも閲覧できます。

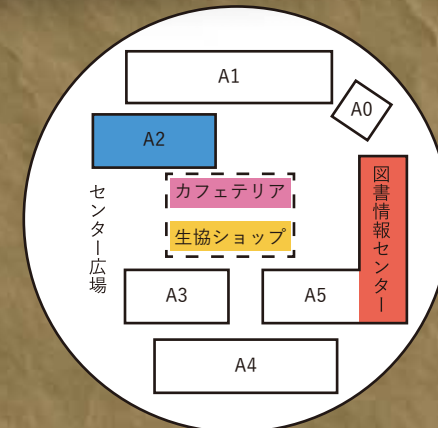
## 生協ショップ

お弁当やパン、お菓子や飲み物などの他にも、  
教科書や文房具なども販売されています。  
特に作りたてのお弁当はすぐに売り切れてしま  
うほどの人気。



## 図書情報センター

学生はレポート作成などの課題に取り組むため  
に、本を借りたりパソコンを使用したりします。  
テスト期間には机に向かって勉強する学生が多  
くいます。



突撃!!

# ジモロな先生



## 信号処理で世の中の役に立つ

電子システム工学科  
宮城 茂幸 先生

### 信号処理を用いて人助け

宮城先生が研究されているのは信号処理システムの応用である。その中でも現在主にしている研究テーマは2つある。

1つ目は、嚥下機能を評価するシステムの構築に向けての研究である。この研究は昨年県大に開設された地域ひと・モノ・未来情報研究センターにおける1つのプロジェクトとして、人間文化学部生活栄養学科の小澤先生や草津市内の病院と共同で行われている。嚥下とは食物を飲み込むことであり、この機能は高齢になるにつれて低下していくという。嚥下機能を評価するために医療機関では内視鏡やレントゲンによる検査がある。しかし特別な機器や操作技術が必要とするため在宅での評価が行えない。グループホームや在宅での介護が増加するのにも関わって、看護従事者や介護従事者であっても実施できる評価システムが今後必要となっている。そこで先生は、健常者と嚥下障がい者との嚥下音の特徴差を音という信号として解析するとともに、深度画像から頸部甲状軟骨の動きを画像という信号として処理を行い、嚥下機能を推定する方法を検討されている。



嚥下機能の検査風景

者との嚥下音の特徴差を音という信号として解析するとともに、深度画像から頸部甲状軟骨の動きを画像という信号として処理を行い、嚥下機能を推定する方法を検討されている。

### ランチタイムトークとは？

2つ目は、センサーの信号処理を応用した人の動きを把握する研究である。これはサービス業、特に飲食業を中心とした業務環境の改善を目的としている。具体的にはセンサーで人が動いているという情報を取り、センサーの信号を解析することで人がどのような動きをしたかを把握するというものである。これにより作業効率の改善を図ろうとしている。この他にも、監視カメラに活用できる技術として、ビデオ画像から暴力行為かそうでないかの判断をする研究なども行っている。このように先生は信号処理のシステムを使い世の中の役に立つシステムを作ることを目標に研究を続けている。

宮城先生は、県大では学部・学科の異なる教員同士の交流や、学部・学科を越えて一緒に行うプロジェクトなどが非常に少なく、せっかくの総合大学なのにもつたないかと考えていた。そこで、ランチタイムトークの場を作り、教員同士のコミュニケーションや共同研究を促そうと思いついた。ランチタイムトークの趣旨は、教員に限らず、異なる分野の人達が集まり、お互いを結び付ける場として機能することである。そのため、教員だけでなく学生も参加したり、工学部だけでなく他学科とも積極的に関わっていきたくと先生は考えている。ただし、話題がなかったり、ただのお茶会のようなものになってしまわないように配慮している。例えば、昼休みの20分間という限られた時間で参加した方々の会話が盛り上がるように、教員の一人に話題提供してもらっている。過去にあった例としては、地域文化学科の先生に博物館について詳しいお話をしていたこともあった。

### 先生が発見したものとこと

「発見したいなということならあります。情報の技術は、あまり関係ないと思われているような分野に意外と使えること

があるはずなんです。これだけITの技術が進んでいて、センシングの技術がよくなってきたからできるようになってきた例もあります。たぶんそういう分野がまだ山ほどあると思います。それを見たいです。今まで研究が適用されていないところを見つけて、そこに適用することで皆さんに幸せになってもらう。そういう分野を見つけていきたいですね。」そう、技術はあるのだ。その技術を適用する場を発見するという力がこれから求められるのかもしれない。研究者の「幸せを願い、実践する力」が時代を動かしてゆく。

### 高校生に向けたメッセージ

「好奇心を広く持つことをすすめたいと思います。例えばインターネットの設定ですが、皆さんが生まれてから家にインターネットが既にいることが多いと思います。そのため、自分で設定するというようなことがないのかもしれませんが、でもご両親や、あるいはプロバイダーの人が設定をしているはずなんです。その時に、なぜつながるんだろう？という好奇心を持って、どう設定しているのかを見てほしいと思うんですよ。何でもかんでも当たり前だと思わずに、いろんなことに興味をもって、疑問に思う態度を持って

ほしいと思います。大学に入ってから勉強にも、そういう好奇心は必要だと思えます。それが最近の子は、あまりにも希薄なのかなというのが心配です。高校生のうちはまだ頭も柔らかく、素直な疑問点も湧きやすいので、疑問に思うようなことをぜひ心がけてほしいです。」これは、先生自身が心がけている態度でもある。好奇心を持ち続けることで、身近な「当たり前」に潜む問題を発見するきっかけになるのではないだろうか。



研究先で着用した帽子をかぶるおちゃめな先生

- 宮城 茂幸（みやぎ しげゆき）
- ・滋賀県立大学 国際教育センター 助教授
- ・2002年4月・2007年3月
- ・滋賀県立大学 国際教育センター 准教授
- ・2007年4月・2008年3月
- ・滋賀県立大学 電子システム工学科 准教授
- ・2008年4月、現在



彦根市高宮町で喫茶店を営んでいる  
おとくらプロジェクト。(以下おとくら)  
今回は 20 人のメンバーをまとめる  
9 代目代表の辰巳佳穂さん(人間関係学科 3 年)  
にお話を聞きました。

## AFTER SCHOOL REPORT

# おとくらプロジェクト

滋賀県立大学の教育プログラムの  
近江楽座(※)の一つであるおとくらプロジェクト。  
大学の敷地を飛び越え地域に根ざした活動をする姿を取材!

「最初に「おとくら」に入ったきっかけは、喫茶店っていうところに惹かれて入ったので、地域貢献とかは考えてなかったです。でも、おとくらとして活動していくこと  
**おとくらの魅力とは?**  
「最初に「おとくら」に入ったきっかけは、喫茶店っていうところに惹かれて入ったので、地域貢献とかは考えてなかったです。でも、おとくらとして活動していくこと  
「おとくら」の魅力とは?  
「最初に「おとくら」に入ったきっかけは、喫茶店っていうところに惹かれて入ったので、地域貢献とかは考えてなかったです。でも、おとくらとして活動していくこと



**おとくらの活動について教えてください**  
「高宮町で築200年以上の古民家を、家主さんの意向で改装して喫茶店として活用させてもらっています。毎週土日に営業していて、メニューとしてはコーヒーがメインですね。地元のコーヒー屋さんで豆を買ってきて、挽いて、ドリップして提供しています。あと、フードはワッフルやホットサンドなどがあるんですけど、一つずつ手作りしています。ちょっと時間がかかってしまうんですけどね…(笑) 手間暇がかかります。」

「あと、喫茶店スペースとは別にギャラリーがあって、地域の人が作った作品などの展示もしています。」  
他にも大学生の展示も行っており、デザイン学科のファッションショーで使用した衣装の展示を行うこともあるのだとか。  
**最後に高校生にメッセージを!**  
「おとくらに入ってください。自分がやりたいことを自分が主体的にやっていけるのが県大や近江楽座の良さかなと思います。大学生になったら自由な時間がたくさんあるから、せっかくなら自分がやりたいことを始めてみませんか?」

**おとくらに入って発見したことは?**  
「私自身はこの地域で育ってきたわけではありませんが、だからこそよそ者としてたくさんの方の良さをこの街で見つけました。その良いところをこの街に住んでいない人にも、住んでいる人にも伝えていきたいです。自分の地元のことってなかなか良いところを見つけにくいものだと思います。逆に私自身の地元の良さも見つけていきたいなあと思うようになりました。」

で、自分が普段話さないような世代の人との交流をして、この地域のために何かしたいと思うようになりました。  
このように、地域のつながりの良さを感じられることが魅力だと思います。」



担当スタッフ：山根光穂子



住所：滋賀県彦根市高宮町 1121  
営業日：土日 10:00 ~ 17:00  
HP：//otokura.jimbo.com  
twitter：@otokura\_kissa  
facebook：@otokuraproject  
instagram：@otokurakissa



## AFTER SCHOOL REPORT

# グリーンコンシューマーサークル

「買い物から、世界を変えよう。」  
を信念に、再スタートを切った環境サークルに注目!

**そもそも「グリーンコンシューマー」って?**  
言葉の意味は、環境に配慮した製品を買うグリーン購入者のこと。その消費者を増やすために設立されたのが、グリーンコンシューマーサークル(グリーンコン)だ。商品販売をしているように思われがちであるが、グリーンコンの皆さんは「買い物から、世界を変えよう」を理念に、様々な視点からアプローチをしている。実際に商品の生産を行っている方にインタビューをし、生産者の声を広げる活動などを行っている。過去には、KOKUYO 工場滋賀さんと共同で商品開発を行い、大学生協で販売をしたこともあるそう。  
現在は方向転換をし、2つの活動を中心にしている。まず1つ目は、朝比奈さんが中心となって活動している「TABLE FOR TWO(TFT)」プログラム。直訳すると「2人の食卓」という意味で、先進国で健康に配慮した食事をしてもらい、その購入価格の一部を飢餓で苦しむ人々に贈る活動だそう。お互いが健康的な食事をすることができるといい活動である。グリーンコンでは7月下旬から学食で「F2Mニュー導入予定」とのこと。2つ目は「フェアトレード活動」。下尾さんが中心となり進めている活動で、フェアトレード商品や認知度の普及のため、映画上映会やワークショップを定期的に行っている。彼女は「フェアトレ



**最後にメッセージを!**  
「買い物で世界を変えようと聞くと想像が付きにくいかもしれませんが、でも、買い物は毎日すること。そんな日常の活動から環境や国際問題を考えることができることを知ってほしいです。『この買物が世界を変えるかもしれない』。そんな考え方を頭の片隅に置くだけで、日常がちよっと変わったものになると思いませんか?」



ド学生ネットワーク」の全国学生組織代表および、関西支部代表も務めている。「フェアトレードを前面に押し出すのではなく『楽しそう、行ってみたい』という興味から知ってもらえるようなイベントを開催したい」と、活動に対する熱い思いを語ってくれた。  
**サークルを通じての「発見」とは**  
「たくさんの人との出会いです。」と、2人とも迷わず答えてくれた。朝比奈さんと下尾さんの出会いはもちろん、農家訪問や、真剣に環境問題に取り組んでいる社会人の方に会うことで、今まで遠かった物事がぐっと近くなる喜びを発見したという。

**一人ひとりから世界を変えるムーブメント**  
**フェアトレード**  
コーヒーや紅茶、バナナやチョコレート。日常を彩る皆さんの食べ物や世界の国々から私たちの手に届けられています。それらを生産している国、人々のことを考えてみたことはありませんか?  
日本では途上国で生産された日用品や食料品が、驚くほど安い価格で販売されていることがあります。一方生産国ではその安さを生み出すため、正当な対価が生産者に支払われなかったり、生産性を上げるために必要以上の農薬が使用され環境が破壊されたり、生産する人の健康に害を及ぼしたりといった事態が起こっています。  
生産者が美味しく品質の良いものを作り続けていくためには、生産者の労働環境や生活水準が保証され、また自然環境にもやさしい配慮がなされる持続可能な取引のサイクルを作っていくことが重要です。そのサイクルがフェアトレードです。フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」。職場や学校でフェアトレードコーヒーを飲む、イベントに参加するなど、フェアトレードに関わるきっかけは身近に沢山あります。私たち一人一人ひとりから世界を変えるムーブメントを。  
担当スタッフ：正木美帆

グリーンコンシューマーサークル  
活動日時：毎週金曜  
Instagram: @meekeo.guricon

受賞・表彰

材料科学科  
伊田 翔平 助教  
イギリス王立化学会が発行する学術論文誌『Polymer Chemistry』(2018年)  
[2018 Emerging Investigator] に選出  
平成29年度 Polymer Journal 論文賞―日本ゼオン賞  
平成29年度高分子研究奨励賞受賞  
学生(学年は受賞時点)  
生活デザイン学科  
加藤 彩香(4年)  
「SOLACAFE」  
みんなでシェアするエコアイデアコンテスト  
「チエコ2017」チエコ賞(最優秀賞)・会場審査特別賞(W受賞)  
生活デザイン学科  
高山 彩香(1年)  
「ペットボトル・シューズラック」  
みんなでシェアするエコアイデアコンテスト  
「チエコ2017」ミエコ賞

生活デザイン学科  
樋口 睦(1年)  
「ひんやり扇風機 氷を使ったエコアイデア」  
みんなでシェアするエコアイデアコンテスト  
「チエコ2017」チカコ賞  
生活デザイン学科  
遠藤 颯希(3年)  
「蛇口をしっかりとしめるようになるアイデア」  
「第6回OAC学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト」OACブロンズ「宣伝会議賞」  
生活デザイン学科  
清水 冬二、酒井 鮎実、中村 真子、春田 萌映、山口 大稀  
「Brancol 2018」全国3位入賞  
生活デザイン学科  
服部 紗英子(4年)  
「南草津駅階段デザイン事業」で採用

環境動態学専攻博士前期課程  
澤井 一毅(1年)  
第129回日本森林学会大会  
「学生ポスター賞」受賞  
環境動態学専攻博士前期課程  
重吉 沙衣(2年)  
日本農薬学会第43回大会「学生優秀発表賞」受賞  
ウインドサーフィン部  
福永 康倅(地域文化学科4年)  
不破 有理子(環境政策・計画学科3年)  
平成29年度彦根市体育協会表彰・心こねスポーツ  
賞表彰式(彦根市体育協会表彰(優秀選手))受賞

生活デザイン学科  
平岡 俊一  
環境科学部 助教  
榎本 洸一郎  
工学部 助教  
萩原 和  
人間文化学部 准教授  
福井 雅英  
全校共通教育推進機構 教授  
杉山 裕介  
工学部 准教授  
平成30年4月1日付  
福井 雅英  
全校共通教育推進機構 教授  
萩原 和  
人間文化学部 准教授  
平岡 俊一  
環境科学部 助教  
榎本 洸一郎  
工学部 助教  
鈴木 開  
人間文化学部 助教  
畑山 翔  
人間文化学部 助教

# SDGsの取り組み

## SDGs拠点大学を目指した取り組みを行っています。

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された先進国を含む国際社会全体の共通目標で、17の目標とそれらを細分化した169のターゲットを有する行動目標です。

### ○持続可能な開発目標(SDGs)の詳細



人間」をキーワードとした幅広い学問分野を進展させるとともに、フィールドワークなど地域と密接につながる実践的な教育や、地域の課題を発見し解決するための研究および地域活動を進めています。  
SDGsは、「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を掲げる本学の基本的な考え方やこれまでの教育、研究、地域貢献活動とも深くつながるものです。世界および地域の持続的な発展に貢献することを目指し、本学は地域への普及や活動を促進する拠点校としての数々の取り組みを進めています。

## 湖風夏祭で「滋賀県立大学SDGs宣言」を実施しました。

6月16日の湖風夏祭で廣川学長と学生が「滋賀県立大学SDGs宣言」を行いました。  
宣言に先立ち、まず、学長からSDGsについての説明があり、その後、学長と学生が声を合わせて、高らかにSDGs宣言を読み上げました。

SDGsと本学の建学のモットー  
本学は、開学以来「人が育つ大学」「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに掲げ、全学を挙げて地域志向の教育、研究、地域貢献活動に取り組んできました。「環境と

宣言後は、SDGsの17のロゴが並びめられたオリジナルのハッピをとおった廣川学長と学生たちが一緒に江州音頭を踊り今後の取り組みの推進を誓いました。



**【滋賀県立大学SDGs宣言】**  
S: 滋賀県立大学は「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに  
D: 誰一人取り残さない持続可能な社会を目指し  
G: グローカルな思考と実践をもつて  
S: 世界と地域の発展に貢献します

平成30年度SDGs大学拠点化事業を行います。  
このほか、本学は、SDGsにかかわる取り組みを推進するためSDGs大学拠点化事業等の様々な事業に取り組んでいきます。

久保田 貢 事務局 次長  
辻 白峰 財務課 課長  
澤村 治男 学生・就職支援課 課長  
山内 剛 経営企画課 課長補佐  
(兼) 企画情報係長  
吉田 斉利 総務課 主幹  
立林 巧 総務課 (兼) 地域連携研究支援課 副主幹  
川口 尚紀 教務課 主査  
田中 茂雄 経営企画課 主任主事  
馬淵 優子 経営企画課 主任主事  
白木 庸子 教務課 主事  
所屬替え  
平成30年4月1日付  
須戸 郁生 学生・就職支援課 総務グループより  
山奥 桂司 総務課 経営企画グループより  
前川 寛行 財務課 教務グループより  
上田ひとみ 地域連携・研究支援課 経営企画グループより  
兼松 里織 地域連携・研究支援課 経営企画グループより

退職  
平成30年3月31日付  
増田 佳昭 環境科学部 教授  
田中 俊明 人間文化学部 教授  
定森 秀夫 人間文化学部 教授  
小栗 裕子 人間文化学部 教授  
平山 琢二 環境科学部 准教授  
山田 逸成 工学部 准教授  
川延 奈々 環境科学部 助教  
森 紀之 人間文化学部 助教  
川端 愛野 人間看護学部 助教  
三和田大衛 事務局財務グループ 統括  
平成30年5月31日付  
村田 尚子 人間看護学部 助教

- ① 教育プログラム改革  
SDGsの視点を踏まえ地域に貢献する人材を輩出するための地域教育プログラムの改革等を行います。
- ② 近江楽座へのSDGsの導入  
学生の地域活動「近江楽座」にSDGsの推進に寄与する活動を行うプロジェクトへの支援制度を創設します。また、SDGsの推進拠点としてSDGsの理念や取り組みを小・中・高等学校や地域等に対し普及啓発します。
- ③ 単位互換化科目「SDGsと滋賀のグローバルイノベーション」(近江の暮らしとつながり)の実施  
SDGsに関する理解を深めるため、県内大学学生対象の単位互換科目を本学に開講します。講座には、SDGs達成に取り組み県内企業やSDGs推進のキーマンが出演します。
- ④ SDGsをメインテーマとしたSDGs学生大会  
SDGsおよび持続可能型共生社会をテーマにSDGs学生大会を開催します。学生大会では、各大学の取り組みや研究成果等の情報交換や交流を行います。
- ⑤ SDGs特化型地域課題解決事業  
持続可能型共生社会を推進するためのSDGs特化型地域課題研究を県内自治体および地域と連携して実施します。